

広報 心しん

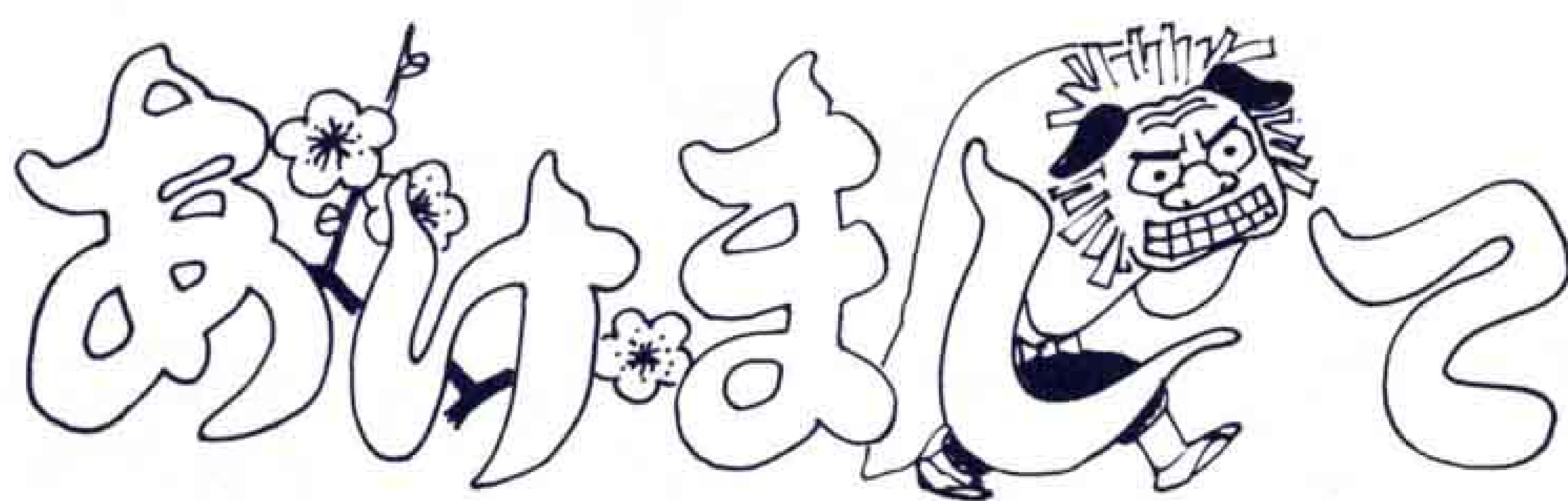
新年号

52.1.1 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1
編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】



約三百年の歴史を誇るといわれる鵜無ヶ渚の獅子舞



市民の安全と生活を守るために



富士市長

渡辺彦太郎

新たな希望に輝く昭和52年の新春を迎え市民のみなさんに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、新生富士市が誕生してから10年になりましたが、この間、社会経済情勢は大きな転換へ向けて推移してまいりました。即ち、従来の高度成長経済から低成長時代に移行すると同時に石油ショック以来の景気の落ちこみによる不況とまさに経済界激動のときであったと思いますしかしながら、市勢は各分野で伸張をつづけ、とりわけ、人口は当時の16万5千人から20万人を超え、工業出荷額は1,800億円から7,600億円台に達し、県東部の中核都市としての地位を築きあげてきました。反面、このような伸張過程における「ひずみ」ともいうべき自然破かいや生活環境の汚染が顕在化し市民の健康と

安全を脅やかすこととなりました。

私は、こうした現代的繁栄と貧困の二重構造という矛盾のなかにおける都市問題と市民の命と暮らしを守る命題を抱え、昭和45年市長に就任以来、人間尊重、生活優先のまちづくりを展開してまいりました。

幸い市議会の深いご理解と市民の皆さんの積極的なご協力のもとで一部には、なお困難な問題を残しながらも着々とその成果が期し得られているものと確信を致しております。

さて、ここに新しい年を迎えることになりましたが、本年も引続き景気停滞の経済環境のなかで、市政運営は一段と厳しさを加えるものと予測されます。しかし、いかに困難な事態であれ、このような時にこそ市民の生活防衛、社会的弱者の福祉の増進に立ち向かわなければならないと考えます。

私は、こうした基本姿勢を堅持しながら新都市誕生以来、この10年がもたらした新しい時代の教訓を踏まえつつ、深刻化する財政危機を克服し多様な市民要求と当面の課題である小・中学校の新增改築等義務教育施設の整備充実及び中小河川や都市排水の整備など生活環境の向上に努めるとともに、長い間の懸案でありました国一沼津バイパスについては、用地買収が順調にすすみ、昭和54年度供用開始に向けて既に一部で

工事に着手致しました。

また、西富士バイパスについても旧ろう用地買収費の追加が内示されたことによって、いよいよ事業の促進がはかれることになってまいりましたので、これら待望の事業の早期完成を目指して、今後一層の努力を傾注してまいります。

さらに、巷間予測されている駿河湾地震対策や8・9静岡県東部における集中豪雨による公共災害復旧事業も昨年末、その採択がきまり本年早々から当市治水の要である沼川水系等の抜本的河川改修事業が、巨額な経費を投入して開始されることになりました。

このように、災害の早期復旧と未然防止をはかって、市民生活の不安を解消し、将来的展望にたった快適な魅力あるまちづくりのため本年も全力を投球する決意であります。

市民の皆さんにおかれましても、昭和52年が新しい年をきりひらく端緒となるよう特段のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げますとともに、ご多幸と健康をお祈りし、年頭のご挨拶と致します。





富士市勢のビジョンへの年頭



富士市議会議長

外山 義一

新年あけましておめでとうございます。

希望新たな新春を迎え、市民みなさんの益々のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げ、ここに市議会を代表いたしまして一言ごあいさつ申し上げます。

旧年中は市民みなさんの議会に対する深い関心とご理解ご支援により議会活動も極めて活発な経緯のうちに、本来の成果を収められましたことについて、衷心より御礼申し上げます。次第であります。

私たちの富士市にとって本年は、新市制施行十一年目という、いい代えれば一つの過程を経て、次なる段階へのスタートの年にあたるのでありまして、その意義からも正にこの年の始めは、また富士市勢のビジョンへの年頭でなければならないと考えるものであります。

過ぐるオイルショックを導火線とする一連の不連続線の低迷に、依然低成長、不況、インフレ、物価高という雲は厚く、このため既に多くの地方自治体が財政危機に遭遇、或いは破綻を訴えているなかであって、当富士市においては全国少数の財政堅持都市として、計画諸事業も着々完成遂行の運びにありますことは、偏えに市民みなさんの旺盛な愛郷心の発露に基づくご協力の結果でありまして、ご同慶共々敬意を表するものであります。

また、昨年は未曾有の豪雨水禍により甚大な被害を蒙りましたが、市当局もさることながら全議員の格段の尽力が結集され、「災禍再び許さじ」の実行運動により、復旧、防災

対策について国県への強力な働きかけの結果、予期以上の措置成果を得ることが出来、緊急着手の運びとなりましたことをここに申し添える次第であります。

また、最近とみに関心の高まりつつある東海地震説については、万一の場合を考慮、かねて来、執行当局に対し、学説或いは科学資料に基づく予知、防備防災対策について積極的提言を行うとともに、これ又国、県に対しその施策の早期措置運動を引続き展開する考えであります。

私ども議会人は、市民みなさんからの厳粛なる付託に応えるため、常に「住みよい郷土に豊かな市民」をその理念に、研さん努力をかさねるとともに、市行財政の適正、効果的運用を通じさらに豊かな郷土づくりに向って懸命の努力を果すべく、新年の初頭に当りその覚悟をあらたにするものであります。

市民のみなさんの市政に対する一層のご協力をお願い申し上げ年頭のごあいさつといたします。



昭和52年 富士市消防出初式

◇と き 昭和52年1月9日(日) AM8:30~PM1:00

◇ところ ・式典 市役所南側道路
・パレード 市役所北側駐車場および吉原本町通り

※市民の防災と地震対策に活躍するこの全容をご覧下さい。

さあ！やって見よう健康づくり体操【最終回】

おとしよりのための「健康へのおさそい」

寒さも一段ときびしくなってきましたので、今回は、おとしよりのための健康体操をご紹介します。冬はとかくからだの動きがにぶるときです。特におとしよりにとつて寒さは大敵、朝の起きがけにちよつとからだを動かして見ましょう。目ざめの運動は3文の得、寝床でそのまま上向きに寝て……。

はじめるまえにちょっとお耳を……

いきなり力いっぱい運動ややたらと長くやったりしないようにしましょう。運動は軽い動

きから徐々に強い動きへと、しかも、からだ全部を動かすようにします。そして、毎日の生活

の中で、その都度、その都度の生活行動にあわせて、つねに何回も行い運動を生活の習慣としていきましょう。



カカ
入らない
ものです…

手にぎり

両手をにぎったり開いたり。初めは力が入らないが、やっているうちに次第に、力を込めてにぎれるようになります。（親指を外に出したり内に入れたりして）



くるりくるり

手首、足首まわし

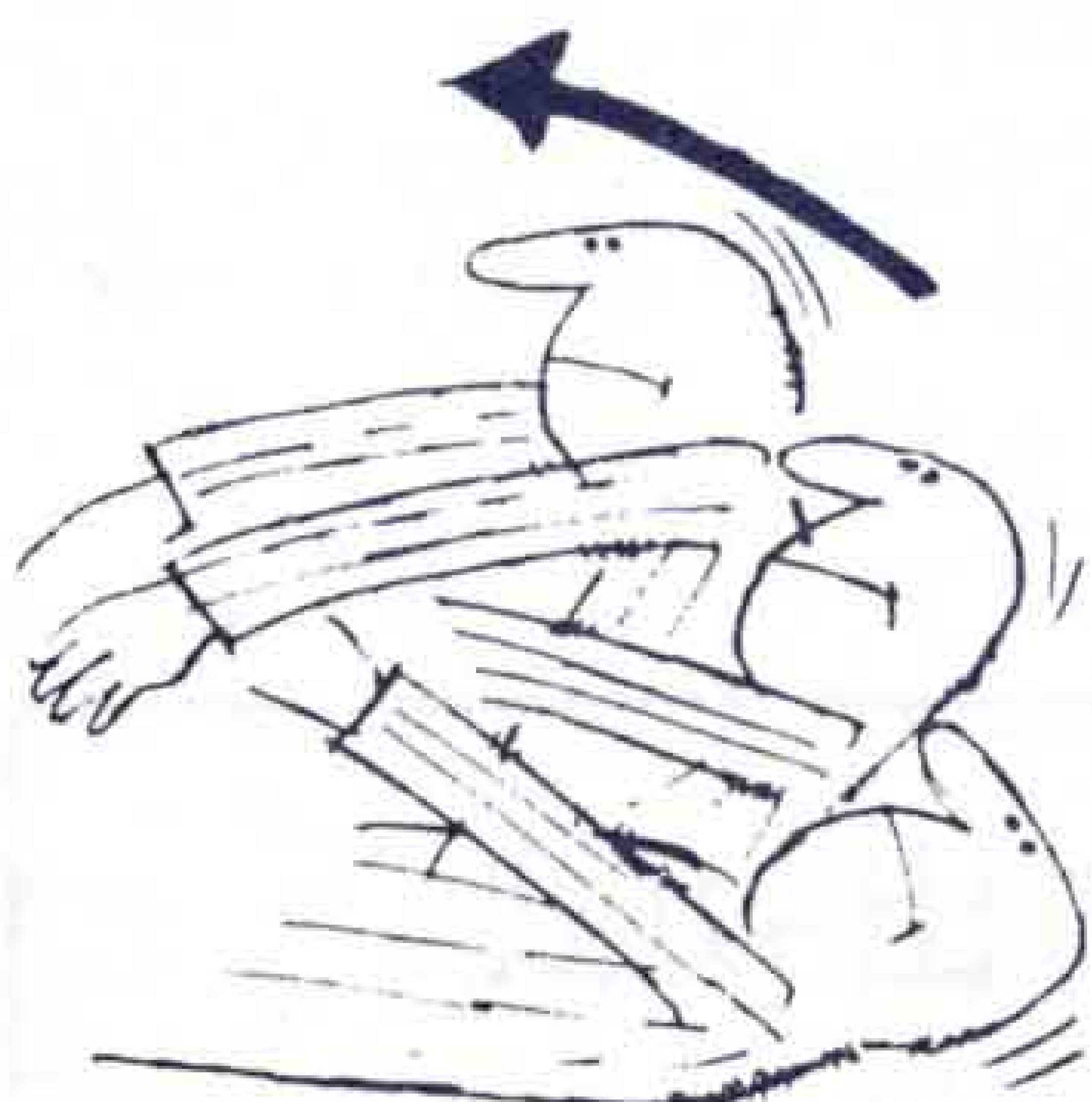
両方の手首・足首を、ゆっくりと右まわし、左まわしに。



**まげてから
のばす**

手足のばし

両手や両足を、まげてからのばす。初めは静かに、ゆるやかに。



カール起き

首から肩、胸、腹、腰と順に、前にまき込むように上体を起こす。ゆっくり徐々に起きましょう。足に布団をかけておきます。



はずみをつけろ

前まげ

両足を伸ばして座り、上体を、ゆっくり、はずみをつけたりしながら徐々に前にまげる。



ひじを大きく！

肩の運動

両肩の上げ下げ、前うしろまわし（ひじを大きくまわしながら…）



腕ふり

両腕をいろいろなふうに振り動かす。手首をブラブラと…。



首の運動

前まげうしろまげ、左右に横まげ、左右にむく(ねじる)、左右にまわす……など。



胸の運動

両肩をうしろに引き、胸を突き出すように大きく張る。ちぢめてまた張る……、何回かくりかえします。胸を張ったら大あくび。



ねじる

上体を左向き、右向きにねじる。



ゆり座り

あくらに座って、左右にひざをあげながら身体をゆする。



猫のあくび

うつぶせにねて、両手をついて身体をそらし、あくび(首を上向きに)

〈アドバイス〉

運動不足は、心臓や血管をおとろえさせるだけでなく、筋肉を衰弱させることによって、大脳の働きまで悪くしてしまいます。人間は動くことによるのみ、その生命が保証されている動物だということを忘れないでください。ただし、お医者さんから運動を禁じられているような病気をもっている人が、運動をするのは逆効果になります。

1月の



■1月1日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
吉田医院(石坂 51-2515)
産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

■1月2日

外科 渡辺病院(錦町1 51-3751)
田辺医院(本市場 61-8410)

産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■1月3日

外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
榎村医院(柚木 63-8881)
産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)

■1月9日

外科 松本医院(久沢 71-2570)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 北西医院(本市場61-0119)

■1月15日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■1月16日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
清河医院(広見6 52-6212)
産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

■1月23日

外科 藤井医院(松岡 61-7811)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

■1月30日

外科 山崎医院(厚原 7-3315)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

3月から総合交通規制を実施

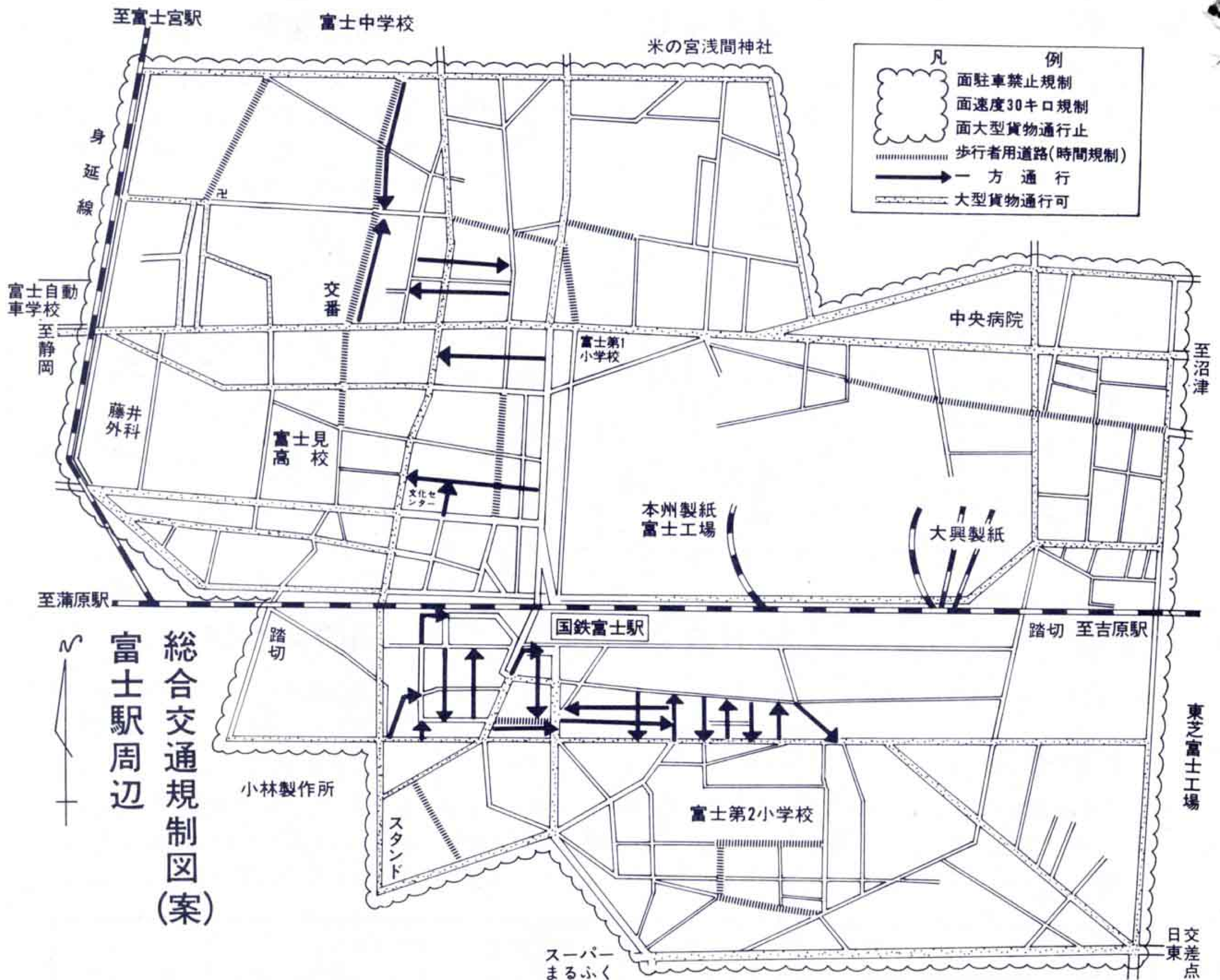
今度は富士駅南部と北部地域の周辺で

富士警察署は、市内の交通事故を一掃するため、現在の交通事情を総合的に検討し、方面別に面規制の検討を急いでおります。すでに、第1回目の総合交通規制は、昨年7月15日から吉原本町通り周辺で実施してお

り、かなりの成果をあげているため今回第2次として3月から富士駅南部と北部を含めた地域の面的な総合交通規制に踏み切ることになりましたので、市民のご協力を呼びかけています。

なお、くわしいことは下記へ問合せてください。

- 富士警察署 電話52-2543
内線 321、322
- 市役所交通課 電話51-0123
内線 273~275



富士駅周辺
総合交通規制図案
(案)

脳神経外科を新設

=市立富士中央病院=

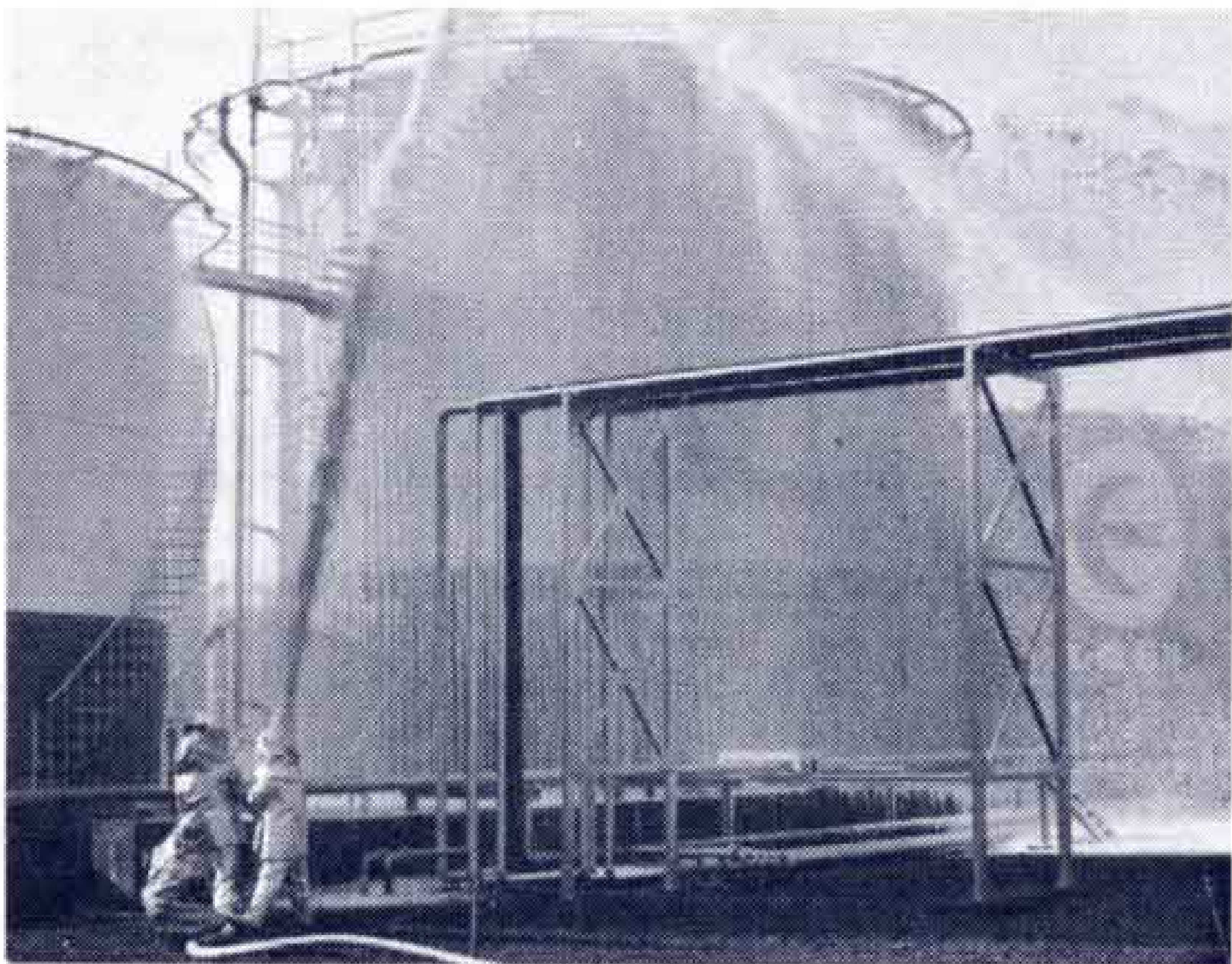


市立富士中央病院にこのほど脳神経外科が新設されました。脳神経外科は、多発する交通事故や事業所災害などで患者が増えたため、今回、はじめて新設したもので、診療室は北病棟1階にあります。受付時間は、平日が午前8時30分から11時まで、土曜日は急患以外は受け付けておりません。

ワラワふじ

油火災もOK

たくさんの貯蔵タンクが立並ぶ田子の浦港東側の石油基地で、12月2日、地震によりガソリンタンクに火災が発生したという想定で大がかりな消火演習が行われました。火災発生時のサイレンの合図とともに基地内の消火栓や市消防署の化学消防車が一斉に放水して消火剤のアワがタンクをすっぽりつつみ、おそろしい油火災の延焼をくい止めて防火訓練を終わりました。



【石油基地の消火訓練】

安全をありがとう

「運転手のみなさん、安全運転でわたしたち歩行者を守ってください」と吉永第2小学校の5年生とPTAの役員など約40人が、12月11日の早朝、鶴無ヶ淵橋のたもとで通勤者に交通安全を呼びかけました。この日にそなえて、5年生全員が、紙でつくった安全マスコットとチラシを配り「いつも安全をありがとう」と呼びかければ、運転手もみんなにっこり。



【交通安全を呼びかける
吉永二小のよい子たち】

お米屋さんがもちつき慰問

市内のお米屋さんが12月5日、福祉施設の市立ふじやま学園をもちつき慰問しました。

この日慰問したのは、富士市米穀組合青年部の渡辺孝之さんら25人。約60俵のもち米とお菓子などをどっさり持って訪ずれ、ことしが8回目とあって、すっかり顔なじみとなった子供達と、おいしいおもちで一足早いお正月気分を味わいました。



【子供達もきねを
にぎってペタンペタン】

「汗のみのり」

第11回富士市農業祭が、11月30日と12月1日の2日間、市立体育館で開かれました。日頃、丹精こめてつくった農作物など778点が出品され、特別優秀賞に次の4点が選ばれました。・市長賞 藤田茂さん(大淵)のたまご ・市議会議長賞 中村茂吉さん(伝法)の甘藷 ・農業委員長賞 本田正憲さん(吉永)のバラ ・農業共済組合長賞 鈴木弥一郎さん(北部)のかんらん。



【にぎわう農業祭】



大峯山のへび塚

口から口へと語りつがれた昔ばなし。私達のふるさとにも、昔ばなしはたくさん残っています。

あまり古い話ではありません。吉永村と今泉村、それに大淵村にまたがって大峯山があります。この山はあまり高い山ではありませんが人里遠くはなれ深いカヤ野の山でした。

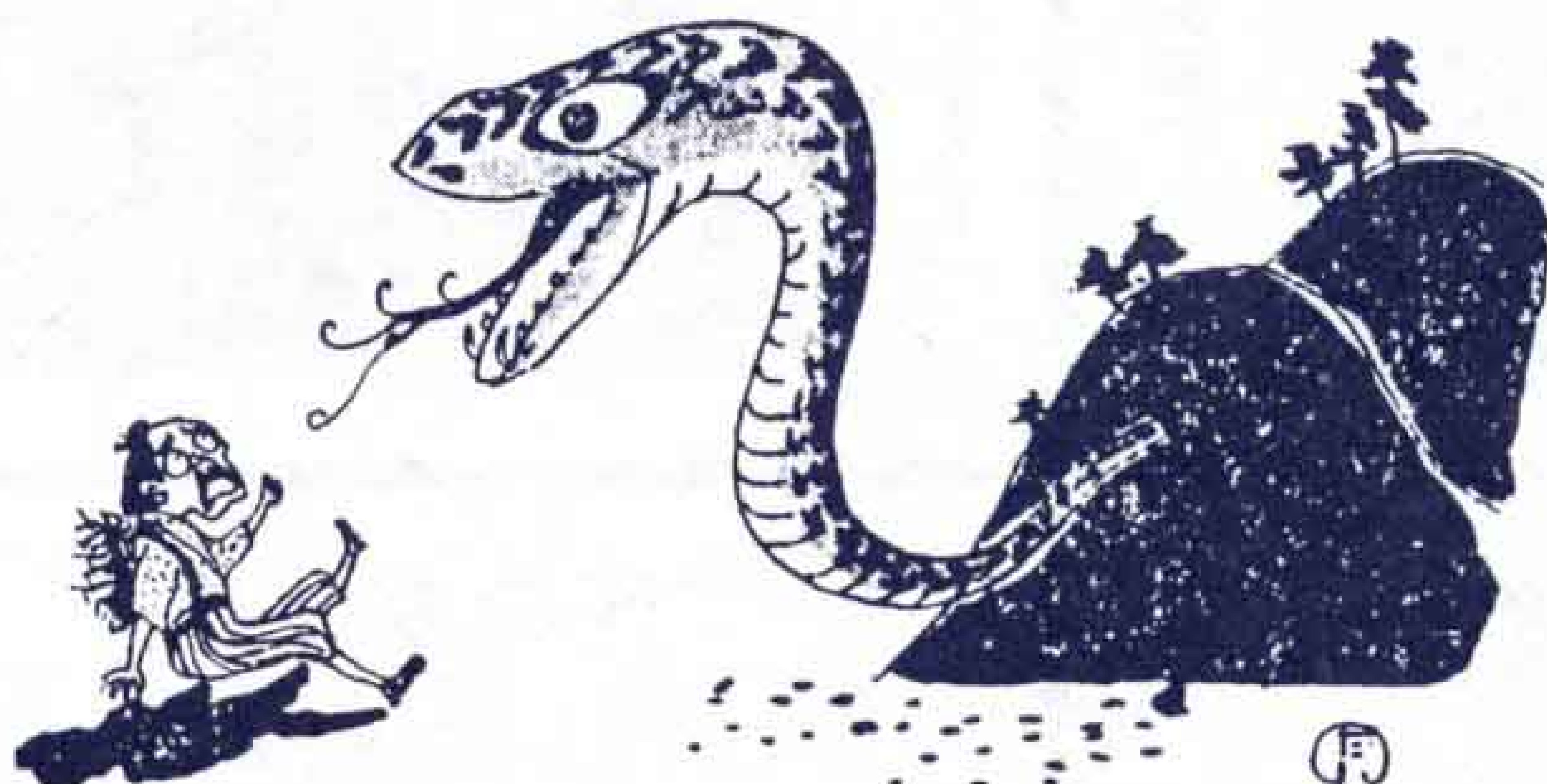
ある日のこと、今泉村のお百姓さんが、大峯山の近くに草かりに出かけました。ふと足もとを見ると、なにか大きな丸太のようなものがころがっています。なんだろうと思っ
てよくよく見ると、それはなんと

大きなうわばみ(だいじゃ)ではありませんか。お百姓さんのおどろきようといったら……もう息がとまってしまうくらい大変なものでした。

血の気もうせたお百姓さんは、まっさおな顔をして家へにげ帰り、あまりのおそろしさのため、そのまま寝こんでしまいました。そして、とうとうよく朝死んでしまいました。

近所の人達は、きつとうわばみに毒気を吹きかけられたからだ信じ、またこんなことがあってはたまらないといって、大峯山に蛇塚を建てました。それからうわばみは、一度も出なくなったということです。

丸火自然公園東側あたりの話ですが、今はもう蛇塚は残っていません



「いつも元気」



伝法小学校
5年
鈴木達己

今年巳年、ぼくの年です。ぼくの家は、毎年毘沙門天に除夜のかねをつきに行きます。寒いのをがまんして順番をとり「ゴーン」と自分のかねを打つと、なんとなく正月がきたなあと感じます。

元旦の朝、おじいちゃんやお父さんからお年玉をもらうのもうれしい時ですが、でも今年ももっとうれしいことがあります。それは、カブスカウトからいよいよボーイスカウトに上進できることです。ボーイになると制服も帽子も大人と同じです。学校では上級生でも、ボーイでは一番下。だけど、ぼくにはとってもうれしいことです。

早く2級をとって「ハット」をかぶりたいなあ。それから、魚釣りにも、スキーにも行ってみたい。「いつも元気でがんばらなくっちゃ」と、ぼくは今、やる気充分です。



【天間南の道祖神】

新しい年 道祖神に 祈る

いなかの道で、道祖神を見かけませんか。

今年も幸福でありますように……

悪い病気にかかりませんように……

昔の人は道祖神に、いろいろ願いごとをしました。

今ではすっかり忘れられてしまいましたが、それでもひっそり、道ばたで生き続けています。



くすりの副作用

病気になる、くすりを飲みますね。くすりにには、病気をなおす働きがありますが、反対に副作用といつて、体の調子をくわする働

きもあるのです。体の小さな子どもが、大人と同じだけくすりを飲んだら、体をかえって悪くしてしまいます。大人と子どもでも、くすりの分量がちがうのもこのためです。くすりの副作用を考えると、軽い病気のとときはなるべく飲まない方がいいでしょう。